



2024.09.09

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

## アストンマーティン Valkyrie が F1®ドライバーのフェルナンド・アロンソのもとに到着

- アストンマーティン Valkyrie が、モナコにてアストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ 1®チームのドライバー、フェルナンド・アロンソに引き渡された
- 2度の FIA F1®ワールドチャンピオンが、公道仕様の F1®カーのハンドルを握る
- 人の目を奪うビスポーク仕様はフェルナンド・アロンソが Q by Aston Martin と共にデザイン
- F1®のコンセプトや技術を直接取り入れた、時代を形づくるハイパーカー
- アストンマーティン Valkyrie は最高出力 1155 PS を発揮するハイブリッドの V12 パワートレインを搭載



2024 年 8 月 27 日、モナコ:

本日アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ 1®チームのドライバーであるフェルナンド・アロンソの下に究極のハイパーカーで真の公道仕様の F1®カー、アストンマーティン Valkyrie が届き、早速モナコ市街を走行しました。

アロンソはアイコニックなモンテカルロ・ベイ・ホテルを新車の **Valkyrie** で出発し、アストンマーティンのビスポーク・サービス **Q by Aston Martin** のデザイン・チームと共同で創り出したビスポーク仕様を披露しました。

アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ 1<sup>®</sup>チームのレーシングカー、**AMR24** にインスピレーションを得たアロンソの **Valkyrie** は、サテン・アストンマーティン・レーシンググリーンのペイントに、そのボディカラーによく映えるビスポークのサテン・ライムで「**AMR**」のグラフィックスが描かれ、このハイパーカーが持つ空力性能を強調しています。洞窟を思わせる広々としたベンチュリ・トンネルは、スピードレッドとライトブルーおよびダークブルーのグラフィックスでさらに存在感を際立たせています。ルーフ、エンジンカバー、ロア・エアロはカーボン剥き出しで、チタン製のアストンマーティン・ウィングバッジが誇らしげにノーズを飾ります。リアには「**CAUTION HOT**」というビスポークのグラフィックスが施されています。

ドライバー中心のキャビンに目を向けると、ここでも広範に剥き出しカーボンが使用され、ピュアブラックのアルカンターラにはコントラスト色の **AMR** ライムでステッチが施されています。同じ **AMR** ライムの糸で、ヘッドレストにアロンソの悪名高いロゴの刺繍が見られます。

おそらく最も手の込んだディテールは、実際ほとんどの人の目には触れることのない場所にあります。「**14**」という数字が刻まれた、レッド・アルマイト仕上げのアクセル・ペダルです。言うまでもなく、フェルナンド・アロンソが **1996** 年 **7** 月 **14** 日、**14** 歳のときに **#14** でカートレースの世界チャンピオンになったときに自身で選んだドライバーナンバーへのオマージュです。

アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ 1<sup>®</sup>チームのドライバー フェルナンド・アロンソは次のように述べています。「この日をどれほど心待ちにしていたかは、言葉では言い表しがたいものがあります。自分の、しかも **Q by Aston Martin** のチームと密接に協力して創り上げた **Valkyrie** の運転席に座った、忘れられない日となるでしょう。**Valkyrie** は公道で走ることのできる真の **F1<sup>®</sup>**カーです。アストンマーティンのサーキット経験から得られた知識と技術が本当に多く詰め込まれていて、走らせてみるのが待ち切れません。」

**0-60mph** 加速は **2.5** 秒を切り、最高出力 **1155PS** を発揮するハイブリッドの **6.5** リッター **V12** パワートレインを誇るアストンマーティン **Valkyrie** は、**F1<sup>®</sup>**にインスピレーションを得たエアロダイナミクスとパフォーマンスの荒々しい組み合わせで、公道で可能な最も強烈なドライビングを実現します。

アストンマーティンのすべてのスポーツカー同様、**Valkyrie** の製造も英国ゲイドンにある本社で行われます。専任のプロジェクトチームが、特別に用意された **Valkyrie** 専用製造エリアでデリバリーまでのすべてを担当します。**150** 台のいずれもが高度に熟練した技術者のチームによって手作業で製造され、**1** 台の製造には **2000** 人時以上の時間を要します。

デリバリーの前には、ブリティッシュ・モータースポーツの中心地であるシルバーストンにあり、Valkyrieが開発された場でもある、アストンマーティンのハイパフォーマンス施設で一台一台のテストが行われます。

Q by Aston Martin は、お客様がデザインに関する創造的な可能性を無限に探り、個性の表現を極めることができる、他に肩を並べるものがないアストンマーティンのパーソナライゼーションサービスです。エクステリアにおけるビスポークのペイントカラーやグラフィックス、インテリアに刻み込まれる繊細なディテールまで、真に1台だけのアストンマーティンを創造することが可能です。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-rMxgg9Xwdi>

## アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、DBS、DBXに加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda  
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific  
有澤 久美子

[kumiko.arisawa@astonmartin.com](mailto:kumiko.arisawa@astonmartin.com)

Marketing & Communications Manager-Japan  
松永 悠理

[yuri.matsunaga@astonmartin.com](mailto:yuri.matsunaga@astonmartin.com)

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

[astonmartin-pr@pjbc.co.jp](mailto:astonmartin-pr@pjbc.co.jp)